

フィルムとの遮熱比較

- ①ソーラーシールドは、フィルムに対し、施工が簡単（2/3）なためコストが安くつきます。
- ②ソーラーシールドは、フィルムが3年～5年の耐久性に対し、10年以上の耐候性があり、同じコストなら50%OFFになります。
- ③フィルムは、傷がつきやすく、張り替えるのに多額のコストがかかるのに対し4H以上のハードコートで傷がつきにくく、10年後もそのまま使用できます。（断熱効果は、コート液を剥離しない限り半永久です。）
- ④幅が広いガラスでも継ぎ目が出来ません。
- ⑤ほぼ透明タイプで熱線吸収では、最高の商品です。

デメリット

- ⑥飛散防止効果はありません。
- ⑦紫外線カットの効果は少し低い（70%）
- ⑧作業後2～3時間位、溶剤の臭いが出ます。

N社断熱コートとの遮熱比較

- ①N社断熱コートは、近赤外線カットで夏場に適した商品で、冬向きではありません。ソーラーシールドは夏、冬兼用タイプです。
- ②N社断熱コートは、可視光透過率が60%前後の薄グリーン色をしているため冬の可視光熱を遮断してしまいます。又、遠赤外線をほとんどカットしないため暖房熱を窓からにがしてしまい、冷え冷えの解消になりません。
- ③N社断熱コートに夏の近赤外線部では負けるものの複射熱や遠赤外線部では極端にソーラーシールドが勝つ為、夏場でもトータルで遮熱効果が高くなります。
- ④ほぼ透明で、塗リムラがおきないのに対し、N社はルテニウムを材料とした薄グリーン色で塗リムラがおきる可能性があり、塗リづらい。

